

日本基督教団代々木上原教会
公開講演会

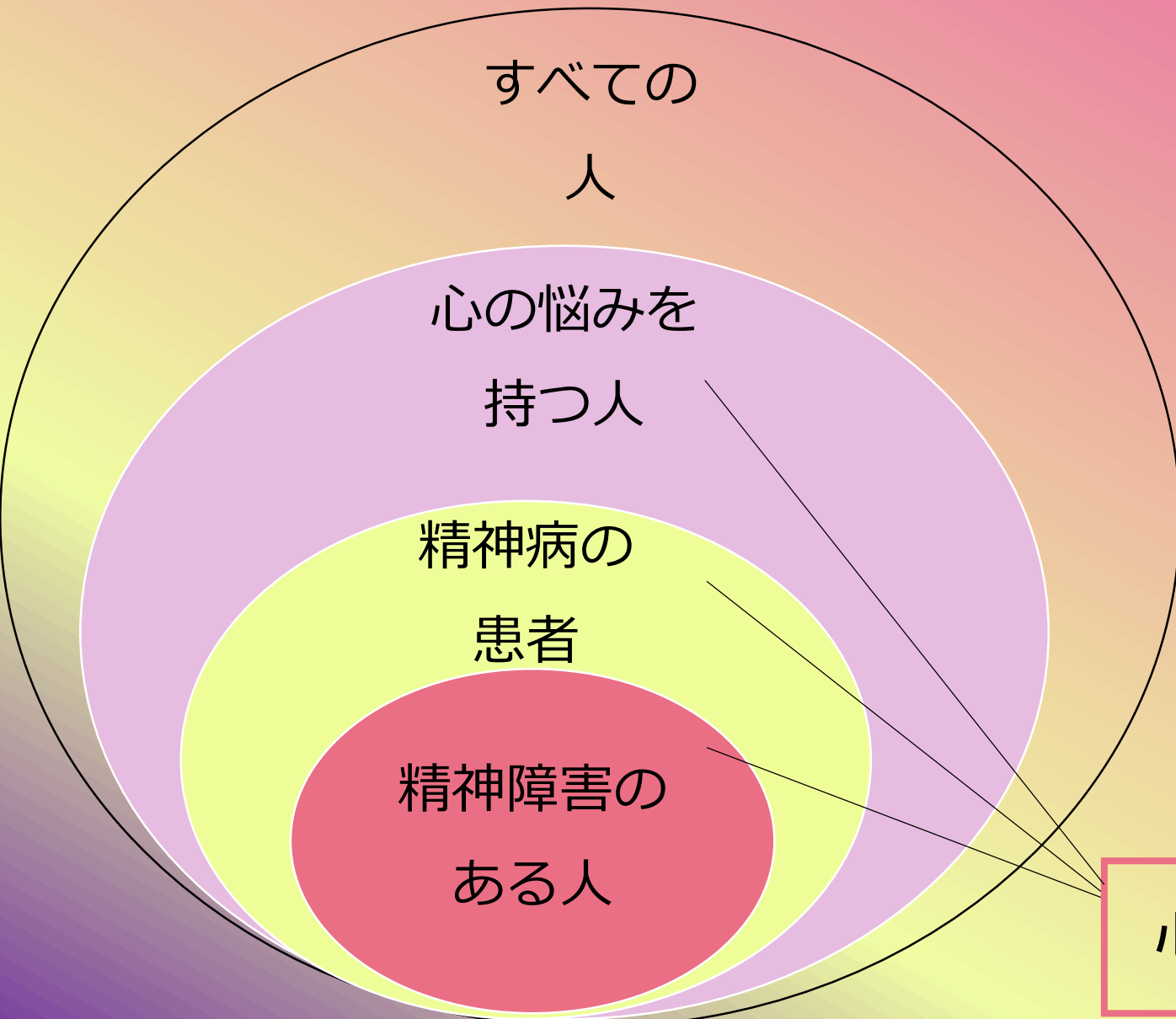
心病める人びとに寄り添う とは

田村綾子（精神保健福祉士）

精神保健福祉士とは

- 1997年に国家資格化された専門職。
- 日本では戦後間もなく精神科病院に勤務し始めた。
- 以前は精神科ソーシャル・ワーカーと呼ばれていた。
- 精神障害のある人びとの社会復帰の促進、行政機関や生活支援施設、相談機関などをはじめ、司法・教育・産業・保健などの領域でも活躍している。

心を病むことと精神障害



心に悩みを抱えることは誰にでもあり得る

悩みが長引くと病気になることがある

病気の長期化や治療の副作用等で生活に支障が出ることを精神障害という

心病める人びと

30年間の入院を経て退院したAさん

- 7時に起床、9時に消灯を守り続ける
- コンビニでの買い物の仕方がわからない
- 食事は、レトルトカレーばかり
- ヘルパーに来てもらうのは、部屋を片付けなくちゃいけないから困る

「退院したら自由があります」

退職勧告を受けて転職活動するBさん

- 戦力外通告されて転職先を探し始める
- 会社も苦しい状況なので当然の決定だという
- 部下が大きな失敗をした、それは自分の管理職としての力不足
- 妻はひどく怒り、ろくに口をきいてくれない

「やっぱりショックだったんですね。」

5年半をかけて卒業したCさん

- 小学校時代から発達障害で通院していた
- 大学進学したものの、パニックを起こして休学
- 復学後も授業についていくのがやっと
- 他の学生に暴言を吐きながら手をあげてしまい、退学処分の危機に

「聖歌隊で自信と仲間を得られました」

意思を決めるための支援

「わたしは～したい」と言えるようにするために、

- ・ 意思があることへの理解 → **人格を尊重する**
- ・ 決定までの時間の保障 → **試行錯誤や失敗を支える**
- ・ 言いやすい状況や環境 → **耳を傾ける**

障害を受け容れるための支援

「自分には障害がある」と受けとめるためには、

- **周囲が偏見を持たない**
- **「障害」だけに着目せずトータルに受けとめる**
- **本人に情報を知らせ、常に本人の都合中心で考える**
- **障害があっても無くても**
「一人の大切な存在である」ことを伝え続ける



「生きなおし」の支援

- 出会い、語り合い、聴き合う
- 環境調整や資源活用のはたらきかけ
- がんばっている姿を見続ける
- 時間を共にし「生きなおし」に伴走させていただく

存在の肯定：あなたが在ることを私は知っている

ご清聴くださり、
ありがとうございました。

準備をしてくださった教会員の
みなさまにも感謝です。

